

Quality Management News

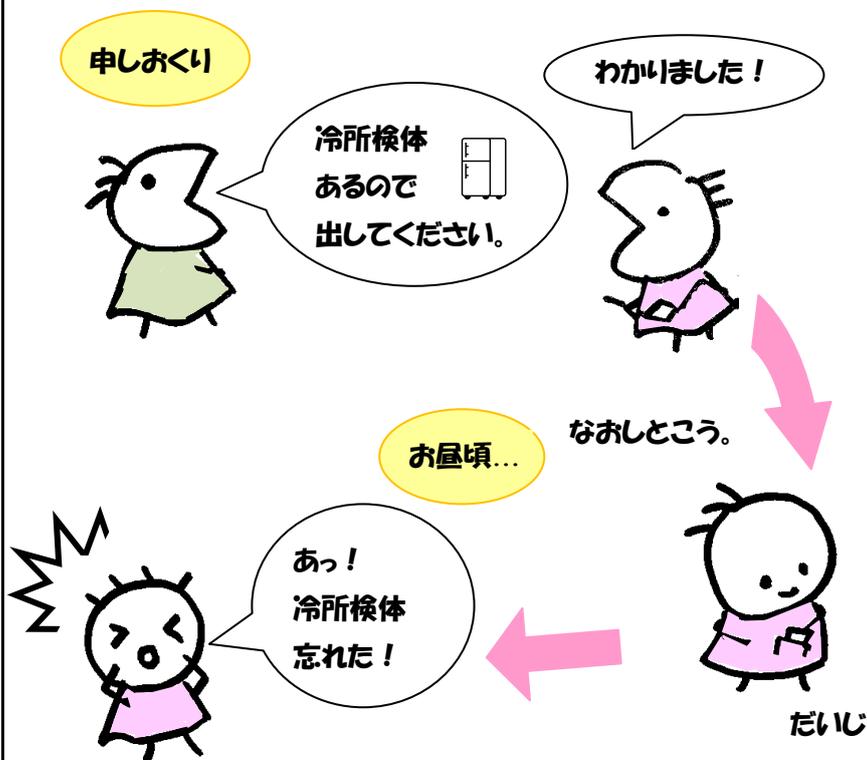
《医療の質・安全ニュース》

No. 11 2010/1/吉日



うっかり忘れを予防するためのコツ

“こんなことはありませんか・・・？”



「Out of sight, out of mind (アウトオブサイト、アウトオブマインド)」という言葉があります。

これは「見えなくなると、忘れてしまう」という意味です。

締め切りの迫った書類の上に、別の書類を重ねてしまい、すっかりそのことを忘れてしまったという経験はありませんか。

日常業務を安全に行うためには、「人の頭の中にある知識や記憶 (Knowledge in the head)」だけでなく、「外界にある知識や情報 (Knowledge in the world)」が大切であると言われています。(1980 ノーマン)

つまり、「覚えていなくても、わざわざ探さなくても、必要な時に、必要な場所に情報がある」ということです。

せっかくのメモや重要な情報は、**思い出さなくてもはいけない場所**に見えるようにしておきましょう。

貼っとこ

ペタ



㊦. 「先進医療と医療安全～本邦の移植医療の現況、実施施設の現場から」 演者:奥村明之進 先生 座長:中島伸 先生

去る平成21年11月21日～22日、東京ビッグサイトにおいて、医療の質・安全学会第4回学術集会（大会長：武田裕 医療情報部長、プログラム委員長：中島和江 中央クオリティマネジメント部長）が開催されました。



奥村 明之進 先生

本ランチョンセミナーでは、座長の中島伸 国立病院機構 大阪医療センター脳神経外科科長から、臓器提供側の医療機関における現状が紹介された後、奥村明之進 呼吸器外科学教授により、臓器移植手術を行う医療機関の立場から講演が行われました。

奥村先生には、本邦では脳死ドナーの数の制限のため、生体移植が突出して多い特徴があるが、臓器移植の成績は臓器移植先進国に比して遜色がないことや、臓器移植医療の安全な実施が、担当医の熱意と多数のコメディカルの献身的な協力のもとに成り立っていること、また、臓器移植医療が医療全体の進歩に貢献する可能性などについて、大変わかりやすく講演いただき、本ランチョンセミナーは大好評でした。



◆ 当院も本制度に加入しています ◆

創設から
1年!



産科医療補償制度をご存知ですか？

産科医療補償制度は、2009年1月に以下のような目的で創設されました

- 【目的1】分娩に関連して発症した脳性麻痺児およびその家族の経済的負担の速やかな補償
- 【目的2】脳性麻痺発症の原因分析を行い、将来の脳性麻痺の予防に資する情報の提供
- 【目的3】紛争の防止、早期解決および産科医療の質の向上

産科医療補償制度の補償機能

補償の対象となるのは？

出生体重が2000g以上かつ在胎33週以上で出生した児に、分娩によって身体障害者級の1級または2級に相当する重度脳性麻痺が発生し、運営組織が補償対象と認定した場合（他、例外規定あり）

該当症例には、
1.準備一時金 600万円 と
2.補償分割金 2400万円（総額）が支給されます。

